

【CL名】野村 仁美さん 【解答者】マルチャン 【作成日】2024年 1月19日 【作成時間】50分

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

派遣先の上司から正社員の打診を受けたが、現在の営業事務から営業の仕事に変更となる。将来を考えれば良い話ではあるが、過去の経験から営業の仕事に良い印象がなく、どうしたらよいか悩んでいる。

【設問2】1行目：良かった点、2行目：悪かった点 この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

(良) 抵抗される場面があったものの、相談者に向き合い続けることを最後まであきらめなかった点。

(悪) ラポールの形成が進まず、相談者が抱えている不安を言語化できる場を作ることができなかった点。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 (1)正社員の打診を良い話と思いつつも決められない点で自己理解不足。(2)打診されている営業の仕事に対する仕事理解不足。(3)中長期的なキャリアビジョンを具体的に考えられていない点。

②その根拠 (1)できれば打診を受けたいという気持ちを妨げている原因について、言語化できていない点。(2)戦略的に商品を販売する経験がないから営業の仕事に自信がないという発言。(3)いつまでも派遣社員で実家暮らしをしていられないという理由から、正社員の話がありがたいという発言より。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

この後は、将来を考えて打診を受けたいと思っている気持ちや、それを妨げている営業という仕事に対して抱えている想いを丁寧に傾聴することで、ラポールの形成に努める。(1)打診を受けることを妨げている想いを言語化してもらい、自己理解を促す。(2)上司から聞いている話や状況から情報を整理し、任される仕事についての不明点とその解決方法を一緒に考え、仕事理解を促す。(3)5年後10年後といった具体的な時期でのライフキャリアビジョンを考えていただき、それを実現するためのキャリアプランを作成する。これにより、相談者が中長期的なキャリアプランをふまえた最良な意思決定ができるよう支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2024.3)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙